

胃がん検診を受けられる方へ

胃がんは、日本人が多くかかるがんの一つです。我が国では、男性・女性ともがんが原因で亡くなる場合の上位に位置しています。

胃がん検診を受診することによって早期の胃がんが発見され、胃がんで死亡する確率が減少することが明らかになっています。胃がん検診は、継続して受けることが大切です。

ただし、胃の痛みなどの自覚症状がある場合は、医療機関を受診してください。

【検診の不利益について】

胃がん検診には限界があり、100%胃がんを発見できるわけではありません。

がんがあっても「異常なし」と判定されることがあります。（偽陰性）

また、がんがなくても精密検査が必要と判定される場合もあります。（偽陽性）

また、胃部エックス線検査では、透視台から転落する可能性がありますので、体力や体調に心配がある方は事前にご相談ください。胃部内視鏡検査では、胃や食道を傷つけて出血したり、穴をあけたり（穿孔）する可能性があります。

使用する薬剤によっては、アレルギーを起こす可能性がありますので、喘息・アレルギー体質の方は、事前にご相談ください。

検診には、このように不利益を生じることがあります。

【検診後の精密検査について】

胃部エックス線検査の結果が要精密検査だった場合は、胃内視鏡検査による精密検査を必ず受けてください。

胃内視鏡検査は口や鼻から内視鏡を挿入し、胃の状態を観察する検査です。

その際、病変の一部をつまみとる（生検）ことがあります。

【個人情報の取扱いについて】

豊中市が行うがん検診では、検診の精度管理のため、精密検査が必要になった方の検査結果や治療の受診状況などを市と検診実施機関と精密検査実施機関で共有します。

また、精密検査の受診状況について市からご連絡させていただくことがあります。

ご理解とご協力をお願いいたします。